

## 浜北特別支援学校城北分校 学校経営計画

### 1 目指す学校像

#### (1) 教育目標

児童生徒一人一人が個性（強み）を発揮【輝き】し、仲間や地域の「人・もの・こと」との豊かな関わり【絆】を築き、達成感・喜び【感動】を積み上げる教育を通して、「地域で主体的に生き、行動し、生活し、働き、楽しむ【自立】」ことができる人を育てる。

スローガン「友と輝き 地域に生きる(自立)」		
輝き（個性(強み)の発揮)	絆（豊かな関わり）	感動（達成感・喜び）

#### <城北分校>

自分の個性を発揮して、地域で学び、共生社会の一員として職業的に自立する人を育てる。

#### (2) 目標具現化の柱 ～ みんなのわくわく笑顔があふれる(Well-being)学校を目指して ～

##### ア <安全・安心>

**守る**

人権尊重を土台とした、生徒が心身共に健康で、安全・安心に生活できる学校

(ア) お互いの人権を尊重し合い、笑顔に満ちあふれた学校生活を実現する。

(イ) 命を守るため、分かりやすく実地的な安全管理体制を整備し、実践力の向上を図る。

##### イ <授業力・専門性>

**育む**

生徒のニーズと発達を踏まえ、生徒が主体的に学び、強みや個性を生かし、自分らしく活躍できる学校

(ア) 生徒が夢中になって「できる」「分かる」喜びを実感できる授業づくりを展開する。

(イ) キャリア教育を充実し、地域で生きていくための資質・能力を培う。

##### ウ <連携・協働>

**つなぐ**

生徒と教職員が、保護者や地域との豊かな関わりを積み重ね、共生社会を目指す学校

(ア) 地域等と目標を共有するとともに、地域の宝を生かし共に教育活動を推進する。

(イ) 地域と共に輝き、支え合う活動を設けるとともに、生徒の魅力を効果的に発信する。

##### エ <チーム・信頼>

**働きがい**

自他を大切にする「対話」を基盤とし、教職員が意欲と笑顔にあふれ、自分らしく活躍できる学校

(ア) 心理的安全性を高め、働きやすい職場環境の充実を図る。

(イ) 業務を適正化・効率化することで、生徒と触れ合う時間や授業研究の時間(学ぶ時間)を確保する。

## 2 令和8年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 安全・安心（守る）	人権を尊重し合い、笑顔あふれる学校生活の実現	・生徒指導を基盤とした、人権を意識した言動の推進	・生徒の心に寄り添った言葉掛け、励まし、称賛、対話を心掛けている。	学部 生徒指導課
		・生徒が相談しやすく安心して学べる環境づくり	・いじめアンケートを実施したり面談の機会を設定したりして、その結果や相談に応じて、改善に向けて対応をしている。	
	命を守る、実地的な安全体制の整備と実践力の向上	・危機管理マニュアルの更新による防犯/防災・減災/安全体制づくりと実地的な訓練の実施	・発災時、緊急時の自分の動きを具体的に想定し、生徒が自分の身を守るための指導ができています。	生徒指導課 （防災）
		・体験的に取り組む、健康・安全教育	・生徒自身が自分の命や健康を守るための指導ができています。	体育保健課 生徒指導課 （交通安全）
イ 授業力・専門性（育む）	生徒が夢中になって「できる」「分かる」喜びを実感できる授業づくりの展開	・自立活動の視点からの的確な実態把握とそれに基づいた指導の充実	・個別の指導計画を基に PDCA サイクルを生かして、生徒が自己理解し、主体的に取り組む授業を実践できている。	教務課 研修課
		・教員の専門性の向上	・各学年、グループは、「対話」をとおして学び合い、各教科等を合わせた指導、自立活動の充実を図ることができている。	学部 研修課
	地域で生きていくための力を培うキャリア教育の推進	・キャリア・パスポートを活用した進路指導の充実	・生徒が自己理解し、自分の進路について、自己選択・自己決定できる進路指導を行っている。	進路指導課
ウ 連携・協働（つなぐ）	地域と共に輝き、共に支え合う活動の設定	・地域資源を生かし、絆を深める教育活動、共生共育の充実	・学校運営協議会を通じて、地域と連携した学校づくりを行っている。 ・行事や共同学習等を通して、交流校との相互理解を深めている。	企画会 学部
	生徒の魅力の効果的な発信	・便り、ホームページ、Instagram等を活用した効果的な広報、発信の工夫	・発信相手を意識し、教育活動の意図や魅力ポイントを明確にした内容を発信している。	企画会 学部 教務課
エ チーム・信頼（働きたい）	働きやすい職場環境の充実	・心理的安全性を高める「対話」の充実	・みんなの笑顔のため、常に声を掛け合い、「お互い様」の精神で、助け合いができています。	企画会
	生徒と触れ合う時間や授業研究の時間確保(学ぶ時間)	・業務の適正化・効率化（学習集団、指導体制、持ち時数、空き時間の再調整、校内外の人材活用等） ・完全退勤日の設定(第一水曜日)	・業務改善、工夫により、徐々に教材研究の時間を増やすことができている。  ・完全退勤日は18時までまでに退勤している。 ・時間外勤務45H/月以上が連続する職員はいない。	学部  管理職 企画会